

教弘会報

埼 玉

春 う ら ら 号

No. 274

令和 7(2025) 年 2 月 21 日 発行

最終受益者は子どもたち

編集・発行:



公益財団法人
日本教育公務員弘済会埼玉支部
株式会社 埼玉教弘



「朝マラソンで気持ちよく一日をスタート!」松伏町立松伏小学校(本文p.4)

巻頭言

学校に子どもをあわせるのではなく、
子どもにあった学校を!

副支部長 小野 知二

p.2

「30歳誕生祝」の贈呈がスタート! p.2

新設校記念品贈呈式 p.2

ハートフルコンサート p.3

学校 NOW

松伏町立松伏小学校
校長 竹森 努 p.4

私の授業づくり

さいたま市立大宮南中学校
教諭 高藤 友輔 p.5

私の読んだ本・読者プレゼント

「こども若者の権利とこども基本法」
入間市立東町小学校 校長 野口 正孝 p.5

さいたま第二営業所が
上尾かしの木特別支援学校の
除草作業に参加しました! p.6

金融教育セミナーが
開催されました p.6

第21回 LCの訪問記
私の出会った素敵な学校
さいたま市立中島小学校 p.6

教弘まなびやスーパープラン p.7

団体扱自動車保険 p.7

今春ご退職の
皆さまへ p.8

ジブラルタ生命 Heart to Heart
ありがとう、先生! p.8

日教弘の会員になりましょう p.8

「いつかはきっと!」と信じ、向き合ってきた先にあったもの

(「巻頭言」 p.2 から)



学校に子どもをあわせるのではなく、 子どもにあった学校を！

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
(埼玉県高等学校教職員組合中央執行委員長)

副支部長 小野 知二

昨年3月、14年間勤務した川口特別支援学校を離れました。最後の勤務日、担任していた5年生のヒロ君とお母さんが訪ねてきました。勘のいいお母さんは、私がいなくなることを察知したそうです。

ヒロ君は発達障害でパニックを起こすことも度々。多動で教室になかなか入れない子です。お母さんのご苦労も並大抵ではありません。若い2人の先生と3人で担任していたのですが、雨の日も風の日も外遊びの好きなヒロ君に交代で付き合い、コミュニケーションが苦手な彼と仲良くなる努力を積み重ねてきました。

春休み、お母さんが「4月から小野先生はいない」と伝えたら、まだ書き言葉を獲得していないヒロ君が急に「手紙を書く」と言い、字の練習を始めたそうです。結果的には手紙は間に合わず、「お楽しみに！」でしたが、お母さんが「挨拶しなさい」と言うと、いつものよ

うに私とプロレスごっこをしていたのに、急に真剣な顔で私の目を見つめ、「小野先生、ありがとう。がんばってください」とお話してくれました。練習していたわけではなく、自分で考えたそうです。

学校中のみんなでヒロ君をかわいがり、お母さんといっしょに「いつかはきっと!」と信じ、彼に向き合ってきました。人に思いを寄せ、それを伝えられるように成長したヒロ君を目の当たりにし、お母さんも私も涙が止まりませんでした。失敗ばかりで決して「いい先生」ではありませんでしたが、最後に「ご褒美」をもらった気持ちです。

「最終受益者は子どもたち」、言い換えれば「子どもたちの学習権保障」。今こそ、子どもたちを真ん中にすべての関係者がしっかりと手をつなぎましょう！

令和7年度から「30歳誕生祝」の贈呈がスタート！

資格条件：教弘保険に1口以上加入されている30歳を迎えられる方
手続：申請書などの申込手続きは不要、当支部からご自宅へ送付

送付時期：30歳を迎えられた月の末日頃
贈呈する品：図書カード(5,000円分)

新設校記念品贈呈式



川口市立芝西中学校陽春分校 そやま たけひさ 校長 菅山 武寿

川口市立芝西中学校陽春分校は、平成31年4月に県内初の夜間中学校として開校し、令和6年4月に陽春分校のために建設された新校舎が完成しました(生徒50名3学級)。11月26日(火)夕方、新校舎完成を待つ新設校記念品として校歌額を贈呈しました。校歌額は生徒玄関の横に設置されていました。

陽春分校は、年齢、国籍、文化が違う生徒たちが学ぶ学校として、「すべては生徒の夢実現のために～生徒が夢中になって活動する学校～」を目指す学校像として掲げています。生徒の皆さんの夢そして、進路実現に期待します。



日高市立高根小中学校 みよし まさひこ 校長 三芳 雅彦

日高市立高根小中学校は、昭和48年に開校した高根小学校と昭和58年に開校した高根中学校を統合し、令和6年4月に市内で2番目の義務教育学校として開校しました(児童生徒269名15学級)。

新設校記念品贈呈式は11月28日(木)朝、全校児童生徒が集合した体育館で行い、入学式・卒業式の横看板を贈呈しました。記念品の看板は、これから刻まれていく高根小中学校の歴史とともに、児童生徒の成長の節目節目で使っていただきます。



埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校新座柳瀬分校 はすみ のりひと 校長 蓮見 法人

埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校新座柳瀬分校は、令和6年4月に県立新座柳瀬高等学校内に開校しました(生徒第1期生16名2学級)。

12月9日(月)に新設校記念品贈呈式を行い、生徒たちの前で横断幕1枚、幟20枚を贈呈しました。代表の生徒からは、「ありがとうございました」という感謝の言葉がありました。また、ある生徒は「大会で頑張れそうです!」と言っていました。生徒たちは、とても喜んでいました。

横断幕の「Break the Limit! ～自分の殻を破れ!～」には、これからの新座柳瀬分校の歴史をつくっていく生徒たちへの、教職員の皆様方の願いがこめられているそうです。



令和6年度

弘済会埼玉支部 PRESENTs

ハートフルコンサート Part III

事業の種類

Aタイプ

学校が、当支部の契約する企画会社と協議して計画・実施。費用は、当支部が全額を助成。

Bタイプ

学校が、独自に本事業の目的に即した「ハートフルコンサート」を計画・実施。費用は、当支部が一定額を助成。

ハートフルコンサートとは？

県内国公立特別支援学校に、プロの音楽家による演奏や劇団による演劇等を生で鑑賞する機会を提供することにより、児童生徒が芸術に親しみ、豊かな心を育てる機会としています。平成29年度から開催している当支部の教育文化事業で、令和6年度は14校での実施を予定しています。

実施校報告

蓮田特別支援学校

Aタイプ

令和6年 12月2日(月) 11:00~11:40/13:30~14:10

チーム・Dancing Clown with マリンバのコンサートを届けました。児童生徒は期待に胸をふくらませてクラウンたちを待っていました。そして、クラウン登場と同時に、彼らのつくり出す世界に入り込みました。イリュージョンでは思わず歓声を上げ、種あかしで大いに笑い、クラウン同士のだまし合いには思わず声を出して教えてあげていました。また、マリンバの演奏には身体を揺らして楽しめました。コンサート終了後は、出演者と一しょにクラスごとに記念写真を撮りました。みんなとてもいい笑顔でした。



川口特別支援学校

Bタイプ

令和6年 12月2日(月) 10:35~11:15/13:20~14:00

OZAWA ALL STARS feat m.s.t. のコンサートを届けました。クリスマスメドレーからはじまった演奏を、子どもたちはとても楽しそうに聴いていました。オリジナル曲も披露され、初めて耳にする曲でも耳を傾け、アップテンポの曲では中学部の生徒が校長先生といっしょにダンスをはじめました。最後に演奏された校歌では、子どもたちの大きな歌声が体育館いっぱいに響きました。



草加かがやき特別支援学校

Aタイプ

令和6年 12月5日(木) 10:30~11:30

チーム・まりずむんのコンサートを届けました。全校児童生徒と先生方約500人が体育館に集合しました。子どもたちは、まりずむんの演奏やリズムをととても楽しんでいました。「こういう場所が苦手な子ども体育館に入れました」と先生が教えてくださいました。まりずむんのメンバーからは、「子どもたちを見て、音楽を楽しむってこういうことなんだと改めて思いました」「ぼくらが子どもたちをのせる前に、ぼくらが子どもたちにのせられていました」「すごく幸せでした。めちゃくちゃ楽しかった」という声をいただきました。



特別支援学校埼玉一学園

Bタイプ

令和6年 12月11日(水) 13:30~14:50

オフィスパフォーマンススラブによるハンドパンと手回しオルガンのコンサートを届けました。ハンドパン奏者の野田ヨシアキさん、手回しオルガン奏者の KojiKojiMoheji さんによる演奏は、みんながよく知っている曲がまったく新しく生まれ変わったようでした。ハンドパンはやさしい音で、手回しオルガンは独特の哀調を帯びて聴こえました。体験コーナーでは、ハンドパンを囲んでグループで演奏したり、野田さんを囲んでセッションをはじめたりする生徒もいました。会場にいた児童生徒たち全員がそれぞれの楽器の演奏を楽しみました。



上尾かしの木特別支援学校

Aタイプ

令和6年 12月19日(木) 10:30~11:30

チーム・かのかんぶりのコンサートを届けました。会場となった体育館に児童生徒みんなが集まるのはコロナ明けでははじめてのことでした。子どもたちは、みんなといっしょにいて、そして、チーム・かのかんぶりの演奏を同時に楽しんでいました。チーム・かのかんぶりからは、「子どもたちが温かく迎えてくれて、ステージと客席が一体となったコンサートができました」「ハートフルコンサート。という空間を、子どもたちといっしょにつくることができました」という言葉をいただきました。



所沢おおぞら特別支援学校

Bタイプ

令和7年 1月10日(金) 10:30~11:30

オフィスパフォーマンススラブ・クラウンサーカスのコンサートを届けました。3人のクラウンたちが、最初から最後まで、子どもたちのそばに来て関わってくれました。子どもたちは手を挙げてクラウンを積極的に自分のところに呼ぼうとしていました。みんな生き生きとコンサートを楽しみました。クラウンたちは言葉を使いませんが、その気持ちは子どもたちに伝わり、子どもたちのノリノリの様子や「すごいなー」という感動もクラウンに伝わったようです。



越谷西特別支援学校

Aタイプ

令和7年 1月22日(水) 10:30~11:05/11:20~11:55

チーム・まりずむんのコンサートを届けました。小学部・中学部が第1部、高等部が第2部の2回に分けてのコンサートでしたが、みんな真剣に、まりずむんの奏でる音楽を聴いていました。「どの音楽も沁み入りました。貴重な時間をつくってくださってすごくうれしかったです、すごく楽しかったです」と、児童生徒を代表した高等部の生徒さんからお礼の言葉をいただきました。





松伏町立松伏小学校

(〒343-0114 埼玉県北葛飾郡松伏町ゆめみ野東1-1-2)

児童数：668名 (R6.12.6 現在) 学級数：26

TEL 048-991-2238 FAX 048-991-2232

<https://fa.fureai-cloud.jp/matsubushi-e/>



校舎



松小レンジャー

本校は、明治6年に松伏領村立大川戸小学校として西福寺に開校し、創立151年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。広い校庭と豊かな自然環境に恵まれ、保護者や地域の方々に多大なるご支援をいただき、児童と教職員が一体となって教育活動に取り組んでいます。

また、学校応援団として、ボランティア登校110番、図書ボランティア、読み聞かせボランティア等、様々なボランティアの方々に児童の登下校や教育活動を支えていただいております。

今年度は、「子供に『やりたい、がんばりたい』を！」を合言葉に、全教職員が一丸となって「チーム松小」で頑張っています。
(校長 竹森 努)

体験活動を重視した知・徳・体バランスの取れた教育活動の推進

自主学習校長賞

子どもたちの「やりたい、がんばりたい」という気持ちを育むため、「自主学習校長賞」を授与しています。自主学習ノートを1冊やり終えると、校長先生から表彰されます。12月の時点で、すでに26冊の自主学習を終えた子もいます。



一人一人に手渡し

児童の声

苦手な算数の文章問題を解いたり、興味のあることを調べてまとめたり、自分で考えて学習に取り組んでいます。「自主学習校長賞」をもらって、「頑張ってたかった！」「もっとがんばろう！」とやる気が出ます。

「自主学習校長賞」の取組を通して、学習内容を自分達で考え、意欲的に取り組む習慣が身についてきています。

松下村塾

業間休みや昼休みに空き教室を使って、担任外の教員や支援員が漢字と計算の基礎力アップを図る「松下村塾」という自主学習講座を開いています。漢字の正解数や100マス計算(かけ算・たし算)の記録が伸



自主的に取り組む児童

児童の声

タイムが縮まるととてもうれしいです。最初は計算が苦手でしたが、どんどん早くなってきて、今では計算王を目指して頑張っています。

びるたびに自身の成長を感じて、「もっとやりたい、もっとがんばりたい」と意欲的に学びに向かう子どもたちの姿が印象的です。

読書活動の推進

多くのボランティアの方が本校の読書活動の推進に尽力してくださっています。月曜日には読み聞かせ、水曜日には図書室の整備と、読書好きな子どもたちが増えるように協



本に保護シールを貼るボランティア

児童の声

私は本を読むのが大好きです。本を読むといろいろなことを楽しく学べ、自分の世界が広がります。図書室に行くとき新しい本に出会えるので、よく通っています。

力してくださっています。休み時間になると、図書室に入りきれず、廊下まで貸し出しの列が延びるほど、図書室は大人気です。

エローラ音楽集会

松伏町は「音楽の町」として有名です。松伏小学校区には、本格的な音楽ホールである田園ホール“エローラ”があります。今年度より会場をエローラに移して校内音楽集会を



美しい歌声を響かせる6年生

児童の声

エローラ音楽集会でピアノの伴奏をしました。緊張したけど、会場でピアノの音が響き渡っていてとてもすごかったです。みんなの歌声もとてもきれいで感動しました。

実施しました。子どもたちは各学年の発表を聴き合い、素敵な歌声や美しい音色の響きを身体全体で感じて、感動していました。

体験活動の充実

低学年では、芋の苗植えや芋ほり体験をしたり、花や野菜を育てたりしています。中学年では、稲刈り体験や福祉体験などを行っています。また、町内の中学生や高校生、特別支援学校との交流、海外からの体験入学の受け入れを



芋ほりを楽しむ低学年児童

児童の声

自分で育てたさつまいもやミニトマトが採れたときはとてもうれしかったです。おいもパーティーで食べたさつまいもはすごくおいしくて忘れられない思い出です。

積極的に進んでおり、地域のボランティアの方の協力のもと、体験活動を重視した教育を推進しています。

外遊びの奨励

本校では、「外で元気に遊ぶこと」を奨励し、業間休みや昼休みには、子どもたちに率先して外遊びを行うよう呼びかけています。遊びをとおして、体づくりや仲間づくり、心づくりを行っています。また、業前活動の時間にマラソンを行い、



元気に走る5年生

児童の声

朝から運動すると元気が出るし、給食もたくさん食べることができます。休み時間には、友達とおにごっこやドッジボールをして遊んでいます。松小の校庭は広くて大好きです。

朝から運動することで、身体も頭も目覚めさせ、1日を元気に過ごせるようにしています。

「私の授業づくり」

中学校 美術科



さいたま市立大宮南中学校
教諭 高藤 友輔



はじめに

本校の学校教育目標は「輝く個性 夢きらり」です。自他を尊重し切磋琢磨し合いながら、夢に向かってたくましく歩む生徒の育成を目指しています。3年間を通して美術科を学ぶことで身に付く資質・能力が、生活や社会の中で豊かに関わることを、生徒自らが実感できるようにと考えています。そして、その資質・能力を「生きる力」として活用し、義務教育を終えた後もそれぞれの進路で活躍できる中学3年生像を目指すために学年間のつながりや、小学校で学んだことを意識し、学年の特徴を踏まえながら系統立てて「授業づくり」の計画をしていきます。

義務教育ですべてを学ぶ美術科だからこそ、社会で生きる力を身に付けさせたい

1年生では、これから美術を3年間学ぶための土台づくりをします。形や色などの視点で考えられた多くの工夫が、日常を豊かにしていることに気が付けるような題材を設定し、美術で学ぶ資質・能力が生きていく上で必要であると実感できるようにします。特に、中学生から学ぶ目的や機能を考えるデザイン・工芸は、より生活や社会との関わりを広げていくことができる題材として指導の工夫を考えます。

2年生では、これまで1年生で培ってきた資質・能力を活用できるように、また3年生でさらに発展できるよう題材の設定を考えます。例えば、2年生では題材「夢のあるお菓子」の企画・デザイン」

を通して、日常生活や社会、環境との関わりを感じながら意欲を喚起し、3年生の題材『人が集う、憩いの空間』につなげられるよう各学年間の内容を意識し、自己と他者や身近な社会とのつながりを広げながら思考できるようにします。また、理想と現実思い悩む思春期のど真ん中である2年生であるからこそ、じっくりと発想や構想を練ることができるように時間配分を考えます。(授業風景1,2)

そして、3年生では、進路や自分の在り方と真剣に向き合う時期だからこそ、これから大切にしたい思いや自分が置かれている環境のすばらしさに気が付いたり、身に付けた資質・能力を自らの個性として社会や生活の中ではどのように活用することができるのか考えられるようになったりする授業を意識しています。

一つ一つの工程に意図をもって制作するようにしたら、社会においてどのように役立つかより深く考えられた。SDGsに関連させたり、地域の魅力に関連させたりすることが大切だと思う。

生徒の感想

憩いの空間を考えたとき、緑のある空間や水が流れる空間などしか思い浮かばなかったけれど、地域に目を向けたりすることで新たな発見がありました。人々が暮らしやすいように年々工夫が積み重なっているのだなと、この制作を通して発見できました。



パッケージデザインの制作



パッケージデザインの鑑賞発表



環境デザインの模型を共同制作

授業風景1

授業風景2

授業風景3

おわりに

授業中に理想としている私の状態は「教師が生徒の表情を常に見ていられる状態になること」です。授業中に多忙にならず、生徒の表情に集中できる教師の状態は、生徒が授業の目標や内容、手順をしっかりと理解して主体的に活動していることにもなります。また、教師が授業中の形成的な評価をする場面を増やすことができます。

だからこそ、特に「授業準備」には力を入れています。生徒が発想や構想した「これがしたい!」という欲求に対応できるように用具や材料を準備しておき、すぐに助言ができるような状態の授業を、これからもつくりたいと思います。

シリーズ 私の読んだ本 ◆No.89

入間市立東町小学校

校長 野口 正孝



「子ども若者の権利とこども基本法」

教職員による児童生徒に対する事故が後を絶ちません。各学校現場での研修会等を通じての指導もなかなか効果が上がらず、現場の責任者として頭を悩ます日々です。

そうした中、この本に出会いました。本書を読んで感じたことは、まだまだ教職員の中にこどもの人権について理解が足りない者がいるということです。声を荒らげる指導や体罰、暴言、わいせつ行為を行う教職員は、こどもの人権意識が低く、そのことによって事故が起きると感じました。

今後は、本校でもこの「こどもの人権」について理解を深めることが、教職員事故の防止に役立つのではないかと思います。

(敬称略)



末富 芳 編著・監修
明石書店

シリーズ「私の読んだ本」

読者プレゼント

「私の読んだ本」で紹介した本を
読者の皆さんにプレゼントします。

「子ども若者の権利とこども基本法」

明石書店

3名様

応募締切…令和7年4月25日(金) 必着

※応募者多数の場合は抽選。賞品はジブラルタ生命の学校担当 LC (ライフプラン・コンサルタント) がお届けします。

応募要領

- 右記二次元コードを読み込むか
saitama@nikkyoko.or.jp まで Eメールでご応募ください。
 - 希望する書籍名、勤務先、氏名(ふりがな)を入力の上、次のいずれか一つをご投稿ください。
 - ① 「私の読んだ本」の記事の感想
 - ② 本会報「教弘会報埼玉 No.274」の感想
 - ③ その他、趣味・旅行・健康づくり・ストレス発散法・お勧めのお店・耳よりの話など何でも可
- ※ 感想や投稿記事は、応募者のご了解の上で「教弘会報埼玉」や「かわらばん HAPPY VOICE!」に掲載することがあります(薄謝贈呈)。

☆ プレゼントの当選は年度内1回に限らせていただきます。

奮ってご応募
ください。

Eメールは
こちらから



「ジブラルタ生命が学校の除草作業に参加しました!」

さいたま第二営業所

9月24日(火)、残暑の中、埼玉第2支社・前澤支社長、さいたま第二営業所・上原所長、同営業所・仲澤LCが、上尾かしの木特別支援学校の除草作業に汗を流しました。3年前、上原所長がLC時代に同校で「除草ボランティア募集」



「今年度初参加です!」(前澤支社長)

の掲示物を見かけて、当時の教頭先生に申し出たことがきっかけとなり、以来毎年参加しているそうです。上原所長は、「除草作業中は無心になれますし、きれいになったことで達成感も

味わっています。学校からは、毎年感謝の言葉をいただいています。」と笑顔で話していました。弘済会の共済事業をお届けしているジブラルタ生命は、子どもたち、先生方、そして学校のために汗を流すことができる唯一の生命保険会社です。



“笑顔で草取り” (上原所長)



「残暑なんてへっちゃら」(仲澤 LC)

金融教育セミナーが開催されました

弘済会の提携保険会社であるジブラルタ生命保険株式会社が、県内の中学校・高等学校からの要請を受け、「金融教育セミナー」を開催しました。自社で作成したテキスト「生徒のための金融教育セミナー」を使つての講義やグループワーク等を取り入れたセミナーでした。

10月3日(木)には、さいたま市立片柳中学校の3年生106人を対象に、さいたま第六営業所・笠井所長が講師を務めました。生徒たちは、「将来のためにお金と上手に付き合っていきたいです。」「お金の話を通して両親のありがたみを考えることができました。」等の感想を述べていました。



片柳中学校の様子

11月13日(水)には、高校では初めて埼玉県立三郷高等学校の3年生99人を対象に、市場開発チーム・平井氏が講師を務めました。生徒たちは、「改めてお金の大切さや詐欺の怖さを学びました。クレジットカードを使う機会やネットで購入する機会が増えるので規約内容を確認したいです。」「トラブルの事例からイメージができました。危険を予測しながら巻き込まれないようにしたいです。」等の高校生らしい感想を



三郷高校の様子

述べていました。同校では12月18日(水)にも1年生202人を対象にセミナーが開催されました。

11月28日(木)には、埼玉県立春日部工業高等学校建築科の3年生31人を対象に、春日部営業所の風越LCが講師を務めました。生徒たちは、「どんな金融商品があるか、また、詳しい仕組みを理解できました。大人になったらやってみたいと思います。」「投資や株などにはリスクが伴うことを知りました。」等、社会への巣立ちを目前にした高校生の感想を述べていました。



春日部工業高校の様子

担当の先生方は、このセミナーの感想や効果を以下のようにおっしゃっていました。

ご担当の先生の感想

外部の専門の方にお金についてお話してもらうことで、生徒たちはより真剣かつ身近なこととして自分とお金の関係を考えていました。

今回のセミナーは生徒のお金についての関心を高めることに変化効果的でした。社会に出てからきっと役立つと思います。

LCの訪問記 私の出会った素敵な学校



第21回

さいたま市立中島小学校

埼玉第2支社 さいたま第七営業所
LC(ライフプラン・コンサルタント)

鶴田 美鈴
小池 愛美

ジブラルタ生命保険(株)
埼玉第2支社 さいたま第七営業所
所長 山田 豊太郎
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町
1-10-16 シーノ大宮ノースウイング 12F
TEL 048-658-1273

今回紹介させていた
だく学校はさいたま市
立中島小学校です。開
校43年目で校区では
一番新しい小学校です。
校庭には開校ときに
地域の方が植えてく
ださったという木々が
たくさんあり、「どんぐり広場」「ふるさとの森」「中島山」など子どもたちの遊び場が多数あります。



金管バンド

休み時間には子どもたちがお気に入りの
場所で緑を感じながら
元気に遊んでいる様子
が見受けられます。

また、地域行事に校
内の金管バンドが参加
し、チャレンジスクール
「ウルラ」や交通安全ボ
ランティア等地域の方



校庭にある中島山

との繋がりも深く、
中島地区の歴史を
詠んだ「中島郷土カ
ルタ」にも取り組ん
でいます。

歴史と伝統、地
域の方の思いに見守
られている、とてもあたたかい学校です。

私たちは、そんな素敵な学校の先生方を
担当させて頂き光栄です。福利厚生を中心
にしっかりサポートさせて頂きます!



中島郷土カルタ



左から 森参事・土方地域連携コーディネーター・内田真人
教頭先生・高橋周一校長先生・鶴田LC・小池LC・山田所長

7

今春ご退職の皆さまへ ご退職以降の手続きで、心配な事はありませんか？

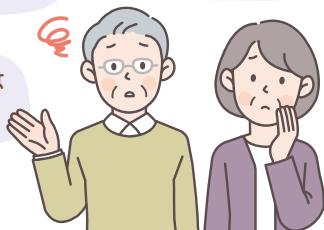
退職後の
医療保険制度は？

退職後も
生命保険は必要？

教弘保険の
支払い方法
変更手続きが
必要・・

ライフプランを考えると経済的な準備手段として、
ご退職後も「生命保険」が必要になります。
「いつ」「どのくらいの期間」「どのくらいの金額」
が必要か把握されていますか？

資産運用は
必要？



国民年金保険の
加入は？

経済的な備えとして、
必要額を把握されていますか？



ジブラルタ生命が協賛しているラジオ番組 TOKYO FM/JFN38 Stations

月・水曜日 7:19 オンエア

ジブラルタ生命
Heart to Heart

ありがとう、先生！から

先生からもらった
今でも忘れられないコトバ を紹介します。

期待しているからこそ、 厳しくしました。

教員になって1年目。失敗するたび、校長室に呼ばれていました。何度も挫けそうになりましたが、一年を終える時に校長先生が一言。今となっては、先生のご指導が本当にありがたかったと感じます。

埼玉県
「ゆきまき」さん
(34歳)

放送日
2024
4.29

皆で泣いて笑って 怒られた日々は もう二度と来ない。

吹奏楽部だった私は一生懸命練習していましたが、ぜんぜん上手くできず、叱られてばかり。部活を辞めたいと先生に話したら、この言葉をもらいました。思い返すといちばん輝いていた日々で、先生の言う通りでした。

埼玉県
「眠り猫」さん

放送日
2024
8.26

活字を疑え

大学で、万葉集の歌を5冊の本で調べる課題がでしたが、それぞれが異なる解釈でした。教授からは「本に書かれていることが真実とは限らない。自分なりの答えを出しなさい」と言われ、今でもその姿勢を大切にしています。

埼玉県
「伊集院あかり」さん
(47歳)

放送日
2024
10.9

あなたが嫌っていた ような大人には ならないで。

高校の卒業式に先生がくれた言葉です。人はなぜ、若い時に嫌だった大人のようにになってしまうのか。上の立場の人にされて嫌だったことを、自分もやったら同類です。年齢を重ねた今、思い返します。

埼玉県
「あずましゃくなげ」さん
(52歳)

放送日
2024
10.21

公益財団法人 日本教育公務員弘済会（以下「日教弘」）の会員になりましょう！

- ① 日教弘の会員になれるのは、当会の事業の趣旨に賛同する公立の学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、又はこれらの退職者です。
- ② 右記の二次元コードからも入会のお手続きができます。
- ③ 会費等費用は一切不要です。④ 入会された方には会員証をお送りします。

会員としてのメリット 会員になることで福利厚生サービス（「日教弘クラブオフ」）を利用することができます。

Webでの
入会
はこちら



会員の皆様へのお願い

お名前・ご住所・ご勤務先等変更の
ご連絡はこちら



つつしんで
ご冥福をお祈りいたします

(敬称略)

ご逝去	ご尊名	所属等	ご逝去	ご尊名	所属等
6月	宮澤 セツ子	友の会（吉見町）	10月	原 富美夫	友の会（川口市）
8月	大野 総一	友の会（さいたま市）	11月	大澤 正実	友の会（長瀬町）
10月	尾畠 勝子	友の会（北本市）	〃	外山 ハツエ	友の会（さいたま市）
〃	黒川 敏宏	友の会（川越市）	〃	中島 真理子	友の会（坂戸市）

宿泊施設に関するお知らせ

日教弘指定宿泊施設「第一イン湘南（神奈川県）」は、令和6年12月22日で営業終了となりました。

令和7(2025)年
2月21日発行

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
<https://www.kyoko.or.jp/>

株式会社 埼玉教弘
<https://www.kyoko.co.jp/>

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 TEL 048-822-7551 (代表) FAX 048-834-0550

◆ 次号 教弘会報埼玉 No.275 は
令和7(2025)年4月11日
発行予定です。

印刷 関東図書株式会社 TEL 048-862-2901